

# 06 知識・技能を身に付ける

取組事例

32

## 親子で「夏休み木工体験」をやってみよう！

～ 丸太切り体験から林業の仕事を考える ～

白山公民館講座 小学生とその保護者



親子で丸太切りに取組む様子

実施時期	令和6年8月
実施場所	三重県林業研究所 みえ森林・林業アカデミー棟
時間	2時間
対象・人数	小学1～6年生8人と その保護者6人
講師	森のせんせい1人（柳田国男氏） 県林業普及指導員1人
備考	白山公民館講座

めざす姿	<b>06 知識・技能を身に付ける</b> （01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、08地域の課題に目を向ける）
ねらい	緑の循環と森のはたらきの関係について知る
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒノキと地域の文化やくらしとの関わりについて学ぶ</li> <li>・丸太切り体験・コースター作りを通じて、手鋸の使い方を学び、木の香りや肌触りを知る</li> <li>・アカデミー棟に使われている木から、「緑の循環」について学ぶ</li> <li>・人工林は、人の手で適切に手入れをすることでそのはたらきが保たれていることを知る</li> </ul>
学習指導要領との関連	<b>森林を保全する仕事（林業）（小学5年生社会科）</b> 触れる・遊ぶ（幼児）、面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、植物の体のつくり（根・茎・葉）・比較する（小学3年生理科）、木材需要と木材輸入・森林と人々のくらし・森林資源のはたらき・自然災害と森林整備（小学5年生社会科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、地域の自然環境と人々のくらし（小学生総合的な学習の時間）

### 取組の内容

丸太切りに使うヒノキの紹介

はじまり

ヒノキは  
尊い木  
神社・仏閣に  
使われてきた。

知る



電熱ペンやマジックで絵付け

木のいい  
香りがする。

体験する



休憩

手鋸を使った丸太切り

体験する



思った以上に  
力がある！

切りだした円盤で  
コースターを  
作るよ！

考える

ヒノキが山に  
生えている様子を想像する



ヒノキって  
どんなふうに  
生えているのかな？

知る

アカデミー棟に使われている木

このアカデミー棟には、  
どのくらいの種類の木が使われていると思う？



アカデミー棟には  
何種類の木が使われて  
いるんだろう？

森を手入れする  
人がいなくなったら  
どうなるんだろう？

森の手入れの必要性



土砂災害が  
増えるのかな～？

知る

おしまい

丸太切りした木の年輪を数える



この木は  
何歳かな？

知る

木材になる木を育てる仕事と  
「緑の循環」

「緑の循環」を  
回していくことが  
大切なんだ！

知る



木材になる木を  
育てるには、  
いろいろな仕事がある。

知る

人が植えた木（人工林）は、  
人が手入れをしないといけない



人が植えた  
木（人工林）は  
人が手入れをしないと  
いけない。

準備物	手鋸、サンドペーパー、丸太切り台、丸太、マジック、電熱ペン、ヒノキとスギの枝葉、いろんな樹種の木材の標本ブロック
子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の香りはすごく癒されるということに感動した。</li> <li>スギやヒノキのことがくわしく分かった。</li> <li>丸太を伐って、ペーパーできれいにし、絵をつけたりしたことが楽しかった。</li> <li>もっと森を大切にしようと思った。</li> </ul>
保護者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さなコースターをつくる過程で、木の性質をたくさん知ることができ、大変勉強になりました。</li> <li>子どもたちにとっては、初めて触る道具もあり、うれしかったようでした。</li> <li>木に囲まれた生活をとり入れたいと思いました。</li> <li>森や木と日常生活との関わりが、とても重要なことがわかりました。</li> </ul>